

- 2 エッセイ／“おかね”を語る  
お金のにおい 作家 乃南アサ
- 4 インタビュー／扉を開く  
隠れた魅力に光を当て共感を呼ぶ  
—「くまモン」に込めたもの 放送作家・脚本家 小山薫堂
- 9 地域の底力——滋賀県近江八幡市  
近江商人の発祥の地、滋賀県近江八幡市に根づいた  
自立自助のまちづくりと「三方よし」の精神
- 16 対談／守・破・創  
完成と思えば成長なし  
プロゴルファー 青木 功  
日本銀行副総裁 岩田規久男
- 20 日本銀行の支店建物 [7]  
日本銀行旧岡山支店 日本銀行文書局技師 中村茂樹
- 24 FOCUS → BOJ ⑩ 日本銀行大阪支店の仕事  
「西の母店」として全国を支える
- 28 日本銀行のレポートから  
「地域経済報告」(さくらレポート) —2014年1月—
- 32 トピックス  
新日銀ネット 第一段階開発分の稼働開始(2014年1月)  
2013年11月より、新しい「国庫金OCR事務」をスタート ほか
- 35 AIR MAIL from London  
過去と未来が息づくロンドン



## 表紙のことば

日本銀行那覇支店は、昭和四十七年（一九七二）五月、沖縄の本土復帰と同時に開設され、ドルから円への通貨交換という歴史に残る大事業に取り組みました。

今回表紙に掲載した現在の店舗は、二代目として平成十九年（二〇〇七）十二月に竣工。那覇市松山から同市北部の再開発地区である那覇新都心の一画、おもろまちに移転したものです。「おもろまち」という地名は公募により採用されたものですが、「おもろ」とは沖縄の古い歌謡のことで、沖縄方言の「思い」が転訛したものと考えられています。

琉球瓦の赤い屋根が象牙色の琉球石灰岩に映える建物は、地上三階建てで、地元ゆかりの琉球ガラスも彩りを添えています。また、南国の強い日射しを遮る深い軒や、太陽光発電や水の再利用設備など省エネ対策も採り入れられています。

同支店には、営業時間中に自由に見学することができる「展示広場」があり、訪れるお客様を、玄関のシーサーが迎えています。



表紙・画 北村公司